

第2回 大阪府立東淀川支援学校 学校運営協議会 議事録

○日 時 令和6年11月22日(金) 10:00~12:00

○場 所 本校図書室

内容・発言者	内 容
開会・北條教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 第2回 大阪府立東淀川支援学校運営協議会の開会。 ・全体進行（教頭北條）の挨拶。 ・議事進行を会長が行うことの確認。 ・委員出席5名。過半数を満たし、会の成立確認。 ・三木田委員の代わりに栢木谷委員が代行。 ・傍聴者0名を確認。
委員紹介・奥井校長	<ul style="list-style-type: none"> ・校長挨拶。
資料説明・北條教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・東淀川まつり見学、学校運営協議会実施要項、学校経営計画の進捗状況、学校教育自己診断について、各学部より修学旅行実施報告
議事・鈴木会長	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木会長あいさつ、議事進行。
学校経営計画説明・奥井校長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度学校経営計画の進捗状況について説明。 <ul style="list-style-type: none"> ・めざす学校像 ・中期的目標（3箇年の計画） ・本年度の取組内容及び進捗状況（4つの項目）
議事・鈴木会長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営計画の進捗状況などについて質疑応答。
質疑・鈴木会長	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画について。今後はどのように変わるのか？
応答・奥井校長	<ul style="list-style-type: none"> ・府で統一したものが保護者にいく形になるが、校内で必要なものについては別紙追加（学校生活の記録など）となる。
質疑・栢木谷委員	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS などスマホなどの利用。本日の遅延などについての対応は？トイレ行きたいや代走などはあるのか？
応答・奥井校長	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡取れる生徒たちについては担任から電話する。状況解除されないようなら、一旦帰宅するのも提案の1つ。災害などがあった場合は、最寄駅に集まるなどの手立てはまだない。他校では、この駅に集合などの提示もある。通学バスについてはアプリもあるし、GPS 機能のものもある。近くのコンビニ等利用させてもらうこともある。
質疑・島田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・中と高の進路指導について、学校の先生や事業所の方々も理解できるような機会を提供してほしい。
応答・奥井校長	<ul style="list-style-type: none"> ・中学部卒業後、高等部ではなく、専修学校や共生推進なども近年は挙がっている、高等部卒業後の進路先の説明など。西淀川区の自立支援協議会でも本校進路指導主事が報告を行う予定。夏期公開講座では、中学部高等部の進路指導主事がそれぞれの卒業後の進路について公開研修を行った。参加した方は学校園が多い傾向である。

<p>質疑・島田委員</p> <p>応答・奥井校長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が中学部にするか一般の中学校にするかで悩まれている声をよく聞くが、何かないか。 ・学校見学会、教育相談などを行なっているので、いつでもご相談ください。
<p>質疑・橋本委員</p> <p>応答・奥井校長</p> <p>質疑・橋本委員</p> <p>応答・奥井校長</p> <p>質疑・島田委員</p> <p>応答・奥井校長</p> <p>質疑・島田会長</p> <p>応答・奥井校長</p> <p>応答・河井教頭</p> <p>進行・北條教頭</p> <p>質疑・島田委員</p> <p>応答・北條教頭</p> <p>質疑・島田委員</p> <p>応答・奥井校長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちが作り上げた製品について。事業所販売会なども開催し、毎年好評。校内販売も検討しているが、校外販売への出店については。 ・現在は校内だが、ゆくゆくは校外にできるようなりたいが、出店開催は休日が多く、こどもたちの余暇活動なども大切にしたい。できたら、平日のどこかで行えるか、製品の場所の提供などもしていただけたらとても助かる。 ・3区のイベントについて今後声をかけても良いか。 ・販売学習もずっと話題に挙がっていたが、今年度ようやく販売学習が始まり、校内からスタート。今後は校外も前向きに考えていきたい。 ・時間が減ったことで持ち帰りの仕事が増えたのでは？ ・事務仕事については校内でシステム化しているので、持ち帰りは今の所はない。今後は無線化になるので、そういうところが今後出てくるかもしれない。教師としてのやりがいやこどもたちへの思いは時間短縮ではできないことももちろんある。校長会では、1つか2つの仕事が増えて帰ってくる。結局、減っていないのではと思う。減った記憶はなく、どんどん増えている傾向にある。新しい制度が増える度に管理職が業務で忙殺されていくことになる。 ・出来島ができたことで、校区が豊中まで広がり、業務が増えたのでは？ ・本来通っていた生徒が新しい環境になることでそれこそが大きな負担である。令和10年度に向けて、また学校が変わる子どもたちもいる現実が一番心配。業務が過多になるのはバス停の変更など懸念点が多くなる。 ・労働時間が縮減するというのは、業務というのを定量で測りにくいので、データとしてなら時間という数値化でしかない。実際の業務内容はどうか？と悩ましい状況にある。物理的なノルマとかはなく、マルチタスクなのが教師である。その負担感は拭えない部分もある。心の支えはこどもたちの将来のためにという信念を持ってやっているので、業務部分のしんどさを和らげていく必要がある。 ・令和6年度学校教育自己診断について質疑応答。 ・自由記述欄はあるのか？ ・質問項目の最後に設けている。 ・本校の生徒が校歌をしっかりと歌っていたのが大変印象的だった。 ・嬉しいお言葉です。コロナ禍で歌う場面が減ってきたのも1つの要因ではないか。
<p>進行・北條教頭</p> <p>説明・林首席</p> <p>説明・池田首席</p> <p>説明・石田首席</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・報告 各学部より修学旅行について ・小学部6年修学旅行 ・中学部3年修学旅行 ・高等部3年修学旅行

進行・北條教頭	・次回の日程について
閉会・奥井校長	・閉会の挨拶。